

伊勢物語

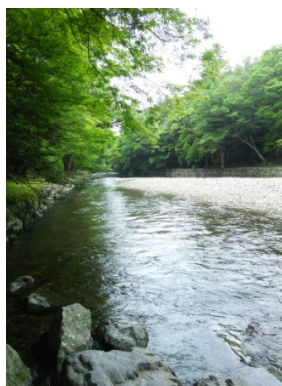
小林なお美

「伊勢物語」…って？ 安心してください。平安時代の歌物語のお話ではありませんよ。

私、神社巡りが好きなのですが、とりわけ伊勢の神宮が大好きなんです。これまで3度伊勢を訪れましたが、直近では昨年(平成27年)6月にお参りさせていただきました。

20年に一度の式年遷宮が行われ、是非とも真新しいお宮に参拝したいと思っていたところ、6月に急に休みが出来たので「これは行くしかない！」と、一人で二泊三日のお伊勢参りに出掛けました。季節はちょうど梅雨時。雨に降られまくるのも覚悟の上でしたが、自称晴れ女の私は、ありがたいことに道中一度も傘を開くことなく過ごせました。

竜王駅前を朝5時30分発の高速バスに乗り込み、4時間ほどで名古屋駅前に到着。近鉄特急に乗り、11時過ぎには伊勢市駅に降り立ちました。



五十鈴川 (内宮)

今から約二千年前、第十一代垂仁天皇の皇女倭姫命が、天照大神の御神体である八咫鏡の鎮まる場所を探して各地を巡り歩かれた末にたどり着いた地が、風光明媚な「うまし国」伊勢でした。

私の今回の目的は、遷宮後の新しく建て替えられた美しいお宮をこの目で拝見したいということと、もう一つ、かねてから念願の御垣内参拝(みかきうちさんぱい)をしてみたかったのです。

御垣内参拝とは、神官に案内されて、通常の参拝よりも内側、外玉垣の内に入れていただいていた参拝のことです。この参拝には服装制限があり、男性は背広にネクタイ、女性も落ち着いた色合いのスーツ、スカート等フォーマルな不敬に当たらない服装が求められます(礼服など最適です)。

バス、電車を乗り継いで一人旅の私には、この服装はちょっとした高いハードルでした。しかし、以前遷宮前の参拝時に「特別参宮章」をいただいていたので、次の機会にはぜひ御垣内参拝を、と思っていたのでした。

神官からお祓いを受けた後、神官の後について白い大きめの玉砂利をゆっくりと歩き、御正宮の前にひとり立ち、感謝の参拝を今回無事に済ませることができました。

バス・電車のお得なパスを駆使して、豊受大神宮(外宮)、皇大神宮(内宮)の順に御垣内参拝を済ませ、ホテル近くの月夜見宮に寄り、それぞれ御朱印をいただいて一日目を終えました。



倭姫宮

二日目は、電車で少し離れた場所にある伊雑宮を参拝後、急に思い立って2016年5月末にG7伊勢志摩サミットが開催される賢島まで足を伸ばしてみました。遊覧船でひとり湾内クルーズを楽しみ、最後にお決まりで強制的に立ち寄るお土産物屋で、娘に真珠のネックレスとブレスレットを買いました。

その後、電車で宇治山田駅まで戻り、倭姫宮、月読宮、猿田彦神社を廻り、内宮そばのおはらい町・おかげ横丁を散策。これがお伊勢参り最大のお楽しみの一つでしょう。道の両脇にたくさんの土産物店が立ち並び、にぎやかな通りを眺め歩くだけで心がうきうきします。赤福本店でお茶と赤福のセットをいただき、暫し休憩。家族、友人に荷物にならない程度のちょっとしたお土産を買って、二日目終了。

最終日は、松阪駅からバスに乗り、遠く離れた所にある「大神の遙宮」と言われる瀧原宮へ。ここは内宮とよく似た清々しい深い森にあり、長い参道が静かでとても美しく、心洗われる空間でした。

その後、近鉄松阪駅から名古屋に戻り、熱田神宮にも参拝させていただきました。17時30分、名古屋駅前に迎えに来てくれた山梨交通の高速バスに乗り込んで、三日間の神社巡りの旅を終えました。



瀧原宮参道

三日を通して観光といえば、賢島の湾内クルーズとおはらい町・おかげ横丁散策くらい。こんな神社巡りだけの旅行なんて、旦那も娘も決して一緒には行きたがりません。でも私は一人で好きなだけ、好きなように、好きな神社にお参りできて、何と幸せな旅だったでしょう！

あー、書いてたらまた伊勢に行きたくなっちゃった。

皆さんもこんな自己満足な旅行記を読んでくださってありがとうございました。

P. S. 本当は伊勢志摩の旅には、「鳥羽水族館」「二見シーパラダイス」「夫婦岩」「志摩スペイン村」「ミキモト真珠島」「松阪牛や伊勢海老のご馳走」などのお楽しみもいっぱいありますよー。